



バランスや配色などを考えて作品を創作する高校生

題材多彩花で表現

高校生 上位2人 全国へ 松 前
競技会

県内で農業を学ぶ高校生
のフラワーデザイン
競技県大会（県学校
農業クラブ連盟主催）

が22日、松前町簡井の
エミフルMASAKI
であり、14校26人が日
ごろの練習の成果を競
った。

生徒は各自テーマを
決めて、12種約30本の
花材を使い片付けを含
めて1時間内に作品を
制作。イメージを膨ら
ませつつ、茎の長さや
花の向きなど全体のバ

ランスや配色などを考
慮し、個性豊かに仕上
げていった。

2025年に全国大
会に出場した野村高校
3年の有間咲礼さん
（17）は、地元西予市の
大野ヶ原を題材に選ん
だ。フトイの茎にワイ
ヤを入れ四国カルスト
の山並みを、カーネー
ションやバラで地域に
住む人を表現。「地域
の美しい自然や温かい
人が好き。地元で就職
したいと思っている」

と話した。

県フラワー装飾技能
士会などの専門家3人
が花材の扱い方や作品
のデザイン性、創造性な
どを審査。上位2人は10
月24、25日に佐賀県で
開かれる全国大会（全
国産業教育フェア）に

出場する。（尾崎麻貴）

主な入賞者は次の皆さん
（○が全国大会出場者）。

【最優秀】○三瀬さやか
（宇和）

【優秀】○越前友
咲（丹原）

成松日有里（愛
媛大附属）

白石優菜（同）

大中ほか（伊予農）

井上
惟川（石高岡愛華（同）

二宮弥佳（北宇和）

高橋和
花菜（野村）